学校番号	３０１３

令和８年度　工業科（建築設備系）

教科	工業科	科目	(学)設備施工	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	いちばんわかりやすい！２級管工事施工管理技術検定合格テキスト(成美堂出版)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

管工事の施工管理に関係する内容で施工管理法、法規、一般基礎、空気調和設備、給排水衛生設備、設備機器などについて学びます。その中でも施工管理法、法規を重点的に学びます。

授業内容にも含まれている２級管工事施工管理技術検定を取得すれば、現場の主任技術者や一般建設業の営業所の専任技術者になることができます。管工事に携わる人にとって、スキルアップを目ざす上で欠かせない資格の一つです。また、資格を取得しなくても施工管理の基礎知識や器具工具の名前を覚えることにより、その他の仕事内容でも役立ちます。

授業中はノートやプリントに板書するだけではなく、授業のポイントや気づいたことなどを枠外に記入していくようにしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・管工事の施工について安全性や環境への配慮を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
・管工事の施工に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
・安全で安心な設備を施工する力の向上を目指して自ら学び、設備の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	空気調和の基礎,空気調和装置に関する基礎的･基本的な知識を身に付け､実際の社会での空気調和設備の意義や役割を理解している。また、身につけた知識と技術を数学的処理能力に活かし、安全･環境に配慮し､その技術を適切に活用する。	空気調和の基礎，空気調和装置についての理解を目指して思考を深め､基礎的･基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	特に空気調和の基礎，空気調和装置について関心を持ち、その理解を目指して主体的に取組もうとするとともに、実践的な態度を身につける。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	第一章　空気調和の基礎	第1節　空気調和の方式 1.空気調和の定義 2.空気調和方式の分類 3.代表的な空気調和方式 4.熱源方式 5.地域冷暖房	a: 空気調和に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、建築設備技術者としての意義や役割を理解している。また、空気調和に対する概念を理解し、計算をすることができる。 b: 空気調和に関する基礎が、建築設備技術者としての役割について、自身の考えを基に課題を見つけ、説明することができる。 c: 空気調和に関する基礎に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。議論を通して学習内容の振返りを行い、考察をすることでさらに理解を深めようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト グループワーク	提出ノート グループワーク 振返りシート
二学期	第三章　換気・排煙装置	第1節　換気設備の構成と設計 1.換気の目的 2.換気方法 3.換気量 4.換気設備の設計	a: 換気設備の構成と設計に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、建築設備技術者としての意義や役割を理解している。また、換気量計算に対する概念を理解し、計算をすることができる。 b: 換気設備の構成と設計の基礎が、建築設備技術者としての役割について、自身の考えを基に課題を見つけ、説明することができる。 c:換気設備の構成と設計の基礎に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。議論を通して学習内容の振返りを行い、考察をすることでさらに理解を深めようとしている。	確認テスト	確認テスト グループワーク	提出ノート グループワーク 振返りシート

		第２節　排煙設備の構成と計画 1.排煙設備の目的 2.火災と煙 3.防煙・排煙計画 4.排煙設備	a：排煙設備の構成と計画に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、建築設備技術者としての意義や役割を理解している。また、火災と煙の特性を理解し、防煙・排煙計画をすることができる。 b：排煙設備の構成と計画の基礎が、建築設備技術者としての役割について、自身の考えを基に課題を見つけ、説明することができる。 c：排煙設備の構成と計画の基礎に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。議論を通して学習内容の振返りを行い、考察をすることでさらに理解を深めようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト グループワーク	提出ノート グループワーク 振返りシート
三学期	第五章　空気調和設備の施工	第1節　機器の据付け 1.基礎工事 2.機器の搬入据付	a：機器の据付けに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、建築設備技術者としての意義や役割を理解している。 b：機器の据付けの基礎が、建築設備技術者としての役割について、自身の考えを基に課題を見つけ、説明することができる。 c：機器の据付けに関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。議論を通して学習内容の振返りを行い、考察をすることでさらに理解を深めようとしている。	確認テスト	確認テスト グループワーク	提出ノート グループワーク 振返りシート
		第２節　配管・ダクト工事 1.配管・ダクトの支持 2.管と継手 3.配管付属品 4.配管工事 5.ダクト工事	a：配管・ダクト工事に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、建築設備技術者としての意義や役割を理解している。また、配管・ダクトの特性を理解し、工事をすることができる。 b：配管・ダクト工事の基礎が、建築設備技術者としての役割について、自身の考えを基に課題を見つけ、説明することができる。 c：配管・ダクト工事の基礎に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。議論を通して学習内容の振返りを行い、考察をすることでさらに理解を深めようとしている。	確認テスト	確認テスト グループワーク	提出ノート グループワーク 振返りシート

		第3節 保温・保冷工事 1.保温の定義と目的 2.保温の材料 3.配管の保温 4.ダクトの保温	a: 保温・保冷工事に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、建築設備技術者としての意義や役割を理解している。また、保温・保冷の特性を理解し、工事をすることができる。 b: 保温・保冷工事の基礎が、建築設備技術者としての役割について、自身の考えを基に課題を見つけ、説明することができる。 c: 保温・保冷工事の基礎に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。議論を通して学習内容の振返りを行い、考察をすることでさらに理解を深めようとしている。	確認テスト	確認テスト グループワーク	提出ノート グループワーク 振返りシート
		第4節 塗装工事 1.塗装の目的 2.塗装の施工箇所 3.塗料の種類 4.塗装工事 5.識別 6.色彩 7.安全管理	a: 塗装工事に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、建築設備技術者としての意義や役割を理解している。また、塗装工事の特性を理解し、工事をすることができる。 b: 塗装工事の基礎が、建築設備技術者としての役割について、自身の考えを基に課題を見つけ、説明することができる。 c: 塗装工事の基礎に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。議論を通して学習内容の振返りを行い、考察をすることでさらに理解を深めようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト グループワーク	提出ノート グループワーク 振返りシート

※ 表中の観点について a:知識・技術 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度